

皆様に知ってもらいたい寄附金の使い道

北彩都あさひかわ

旭川駅の周辺は、市民だけでなく旭川を訪れる人にとっても「まちの顔」となる特別な地域です。しかし、時代とともに住む人や歩行者が減少し、都心部の魅力の減退、活力の低下が顕著になっていました。そのため、旭川市では、中心市街地の復興を目指し、駅周辺開発事業「北彩都あさひかわ」に着手し、自然に恵まれた旭川を象徴する都心のオアシスとなる「ガーデン」を創り、生活の場でもある中心市街地を楽しく、活力あるものにしようと取り組んできました。

「北彩都あさひかわ」のまちづくりを象徴する空間が、「あさひかわ北彩都ガーデン」です。

まちなかのオアシス「あさひかわ北彩都ガーデン」

あさひかわ北彩都ガーデンは、旭川駅に直結するアクセス性の良さと、「川のまち旭川」らしく、河川空間を生かして造られているのが特徴です。

ガラス張りの駅舎を背景に、色鮮やかな花々が咲く花壇、爽やかな木陰と開放的な芝生広場、四季の風景を映し出す鏡池など、都心に居ながら豊かな自然を感じ、素晴らしい景観を眺望できるガーデンには、通勤や散歩の途中に立ち寄る市民、友達や恋人とおしゃべりを楽しむ若者たち、旅の途中にくつろぐ観光客など、様々な人が訪れます。

このような旭川のまちづくりは、各方面から高い評価をいただき、「都市景観大賞（H27）」、「日本都市計画学会計画設計賞（H27）」、「土木学会デザイン賞最優秀賞（H28）」、「IFLA APR Awards 最優秀賞（H29）」など、多数の賞を受賞しています。

市民に愛され、育てられるガーデン

北彩都ガーデンを支えるのは、ガーデナーやフィールドキーパーと呼ばれるスタッフの他、大勢の市民ボランティアが活躍しています。季節に合わせた花の植え替えや花壇の手入れなどをお手伝いするガーデンサポーター、訪れる人にガーデンや旭川の魅力をお伝えするガイドボランティアなど、多くの市民に愛されながら、ガーデンは成長を続けています。

また、花や樹木を楽しむだけでなく、ガーデンでは様々なイベントやワークショップを開催し、四季を通じて人々が賑わい訪れるまちづくりに寄与しています。

都市と自然が融合する旭川の魅力を発信

日本最低気温氷点下4.1℃の記録を持つ旭川は、夏には30℃を超えることもあります。そんな旭川らしい厳しい自然環境を過ごした花々は、たくましく色鮮やかに育ち、春から秋までガーデンを彩ります。ガーデン全体で8万株を超える花が植えられていますが、絶え間なく花が咲いている状態を保つには、その一部を毎年植え替えたり、植え直したりする必要があります。

都市と自然が融合する旭川の魅力を発信し、旭川を代表する観光スポットを目指して、美しいガーデンを維持管理しています。そのため花々の購入経費等として、ふるさと納税によるご支援、応援をお願いいたします。

寄附金の使い道

皆様からいただいた寄附金は、北彩都ガーデンの季節を彩る花々の購入費用等として活用させていただきます。

お問合せ先

土木部公園みどり課 0166-25-9705